

2017年10月24日

大阪産業大学附属高等学校

## 2016年度 学校関係者評価

大阪産業大学附属高等学校  
学校関係者評価委員会

10月24日に学校関係者評価委員会（8名中4名の委員が出席）を開き、会議冒頭にホームページに掲載している体育祭・文化祭の動画を視聴し、その後、学校が公表する学校評価に基づいて大阪産業大学附属高等学校の教育について議論しました。その概要を報告します。

### 1. 2016年度 学校評価について

学校評価の記載・説明に関して、学校が取り組んでいるキャリア教育、各地の教育現場が抱えるいじめなどの問題、学校と近隣地域との連携などの課題、AIの進化に象徴されるように、これからますます予測困難になる未来社会に対応すべく、取り組みが活発化している主体的な学びについてなど議題は多岐にわたりました。また、体育祭・文化祭の動画を視聴して、ご自分の高校時代と比較して、学校行事に楽しそうに、活発に取り組む生徒たちの姿に感心される委員もおられました。

### 2. 学校教育への提言

#### A. 同窓生代表から

学校では幸い、大きないじめ問題が発生していないようなので良かったと安堵の声をあげている委員もいました。しかし、ここ最近も全国で悲惨ないじめ問題が発生しているため、教員にはこれからも引き続きしっかり指導していただき、いじめが深刻化して取り返しがつかなくなるような事態が発生する前に、早期にいじめの芽を摘むような指導を望むとの提言がありました。

#### B. 近隣住民の方から

学校の近隣には、高齢者の方も多く住まわれているので、毎朝、生徒が近隣の清掃活動に取り組んだり、地域住民の方に元気に挨拶の声をかけてくれたりするのは、地域に活気が出るのでありがたいという感謝の言葉がありました。また、出席された近隣住民の方は、本校の生徒をキャリア教育でお世話してくれている福祉施設で勤務されており、介護の現場で若年労働者が不足している現状を憂えて、生徒が将来、福祉施設へ勤務することを期待する声もあげられていました。

#### C. 大阪産業大学の教員から

学校が取り組んでいるキャリア教育は具体的にはどのような内容なのか、また、学校では主体的な学びをどのように実践しているのかとの質問がありました。学校の主体的な学びの実践例として、グローバルコースが実施している留学生との交流プログラムやプレゼンテーションなどの例の紹介がありました。